

ダイオキシン排せつに有効

食物繊維、葉緑素含む食品

食用油に混入したダイオキシン類が原因で発生した国内最大の食品公害「カネミ油症」の患者が体外へダイオキシン類を排せつするのに、食物繊維と葉緑素を多量に含む健康補助食品が有効なことが、厚生労働省全国油症治療研究班の長山淳哉・九州大准教授らの研究で分かった。食物繊維と葉緑素の排せつ効果は動物実験などで確認されていたが、油症患者への効果が確認されたのは初めて。8月に中国・北京であるダイオキシン国際会議で発表する。

厚生省研究班「カネミ油症」患者に利用

札幌の会社製造、根本治療に道

油症は西日本一帯で68年に発生、約1万4000人が内臓障害や脱毛、皮膚炎などを訴えた。治療法は確立されていない。

研究に使った健康補助食品は札幌市の健康食品会社「玄米酵素」が発酵した玄米や藻の一種を原料に製造販売する「ハイ・ゲンキ」。患者18人(43〜75歳)を2グループに分け、2年間、1年交代で摂取してもらった。

油症の主な原因物質のダイオキシン類、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)の血中

濃度を測定すると、両グループとも食べた年は下がり、食べなかった年は上がった。特に高濃度の患者3人は、研究開始前に1㏎当たり1047

ピコ(ピコは1兆分の1)だった平均濃度が、1年間の摂取後に1028ピコに低下。

摂取しなかった1年後は再び1035ピコに上がり、変化が顕著だった。

長山准教授は「油症の根本的治療につながる。食物繊維と葉緑素が、腸でのダイオキシン類の吸収を抑え排せつを促進している」と分析している。問い合わせは玄米酵素(011・736・2345)。

【柳原美砂子】